



〈2019年4月撮影〉

## 【女川原発アラカルト】

### 【3月】

- 20日（水） 東北電力、再生可能エネルギー開発のレノバ（東京）が由利本荘市沖で計画する洋上風力発電建設の調査事業に参加（出資）すると発表。
- 22日（金） 東北電力、丸紅と韓国電力公社による共同出資会社がベトナムで進める石炭火力発電事業に資本参加し、株式10%を取得する契約を締結したと発表。
- 25日（月） 東北電力、東京急行電鉄世田谷線に水力・地熱発電による再生可能エネルギー100%電力の供給を開始。都市型電車の通年全列車運行は国内初。
- 26日（火） 原子力規制委員会、女川原発2号機の新規制基準の適合性審査152回目会合を原子力規制庁で開催。東北電力、地下水位を下げる対策などを追加説明。規制委、「多重化されていない」などと指摘、再回答を求めた。
- 27日（水） 環境省、県内全域の河川と湖沼や沿岸計54地点の公共用水域で1～2月に実施した放射性物質モニタリング結果を公表。河川周辺の土壌から阿武隈川羽出庭橋（丸森町）の左岸で1950Bq/kgの放射性セシウムを検出。底質では、阿武隈大橋（阿武隈川水系）付近で615Bq/kg検出。水質は全地点で検出下限値（1Bq/l以下）以下。
- 28日（木） 東北電力、女川2号機の安全対策工事費が3400億円程度に上ると発表。防潮堤の地盤改良工事、海水ポンプ室への浸水防止壁の設置などの追加工事が増えたためと説明。今回の工事費には、テロ対策拠点「特定重大

事故等対策施設」の費用は含まれていない。

- 30日（土） 脱原発東北電力株主の会、株主提案協力要請発送作業。9名参加。

### 【4月】

- 2日（火） 規制委適合性審査153回目会合。東北電力、基準地震動が起きた場合でも燃料被覆管の閉じ込め機能が維持されるかどうかを説明。規制委、おおむね理解を示した。
- 4日（木） 規制委適合性審査154回目会合。東北電力、重大事故対策として原子炉格納容器の破損を防ぐフィルター付きベントと原子炉建屋の水素爆発防止装置について説明。規制委、説明が不十分として追加回答を求めた。
- 5日（金） 規制委適合性審査155回目会合。東北電力、重要施設の基礎地盤の基準地震動に対する安定性評価について初めて説明。規制委、追加説明を求めた。
- ドキュメント映画『福島は語る』、仙台駅東口映画館チネ・ラヴィータで上映（～11日）
- 7日（日） 原発問題住民運動宮城県連絡センター、講演会「女川原発の再稼働は許さない 廃炉も課題がいっぱい」、講師岩井孝氏（日本科学者会議原子力問題研究委員会委員長）、仙台市福祉プラザ1階プラザホール。福島第1原発事故による放射能汚染・新規基準に適合しても、重大事故の可能性がある・女川原発2号機の適合性審査の批判・女川原発で重大事故が発生したら・茨城県東海第2原発再稼働を巡って…周辺自治体にも事前了解権、多くの反対・廃炉の課題・使用済核燃料の問題。共催口女川原発UPZ住民の会他。112名参加。
- 11日（木） 規制委適合性審査156回目会合を

非公開で開催。東北電力、航空機衝突やテロなどへの具体的な対策を説明。

12日(金) 東北電力、県・女川町・石巻市ならびに登米市・東松島市・涌谷町・美里町・南三陸町に3月分の女川原発の点検状況報告。

14日(日) 女川原発再稼働の是非をみんなで決める県民投票を実現する会(みんなで決める会)、11万県民の署名が問いかけたもの。「原発」県民投票運動 報告集会一、仙台弁護士会館4階大会議室。会場一杯の170名以上参加。

日本キリスト教団東北教区放射能問題支援対策室いずみ、「第60回こども甲状腺エコー検査 in かわさき」、主催:センス・オブ・ワンダーかわさき子どもの広場、後援:川崎町、川崎町川内北川コミュニティセンター。検診医/寺澤政彦医師(てらさわ小児科・仙台市)。56名が受診。

16日(火) 規制委適合性審査157回目会合。東北電力、非常用海水ポンプ室の上部に設ける竜巻防護ネットの落下対策を追加説明。規制委、情報の整理を求めた。

17日(水) さすらいのみちのくサクラ調査隊、16年目、最後の女川原発サクラ調査。

19日(金) 『ふるさとを返せ』福島原発避難者訴訟控訴審第3回公判、仙台高裁、「原告本人尋問」。

23日(火) みやぎ福島原発損害賠償請求訴訟(ふるさと喪失訴訟)、仙台地裁、「原告本人尋問」。

「第16回女川原子力発電所2号機の安全性に関する検討会」、TKPガーデンシティ仙台勾当台2階ホール2。中嶋県議含む市民8名+記者3名傍聴+TVカメラ2台。

規制委適合性審査158回目会合。東北電力、原子炉建屋内の壁面の穴に取付けた板「ブローアウトパネル」の設計方針などを説明。規制委、追加説明を求めた。

24日(水) 女川UPZ住民の会、第4回総会記念講演会「女川原発災害時における『広域避難計画』の問題点とその実効性は?」、講師・小野寺信一弁護士、涌谷町公民館交流ホール。約70名参加。小野寺弁護士は、宮城県と石巻市の原子力避難計画は、①交通渋滞で避難所にたどり着けない。②複合災害で受入自治体が受入を拒否した場合、予定している受付センターに行かないと避難所が指定されない。③バスの確保と手配ができない。④病院、高齢者施設の患者や利用者の避難、搬送先が確保できない。⑤行政機構の代替施設が確保されていない、と実効性がない理由をあげ、計

画が破綻していることを明らかにした。

県安全性検討委員7人、2号機のフィルター付き格納容器ベント装置や防潮堤の工事現場を視察。(現地訪問は2015年1月以来)

25日(木) あいコープみやぎ、「地産自立のエネルギーで目指す未来」~日の出さんさん発電所が語るもの~、講師みやぎ地域エネルギー合同会社代表浦井彰氏、エル・パーク仙台5階セミナー室、約30名参加。

東北電力原田社長、定例記者会見で、テロ対策施設「特定重大事故等対処施設」の設置期限の順守を表明。

26日(金) 株主の会、東北電力に株主197名・213,900株で「原子力発電事業からの撤退」等の5議案の株主提案(24年連続)を提出し、県庁で記者会見。4名参加。

## 【5月】

7日(火) 東北電力、規制委に「原子炉施設保安規定変更認可申請」を提出。

9日(木) 東北電力、規制委に「保安規定変更に係る基本方針」を提出。

14日(火) 「第149回女川原子力発電所環境調査測定技術会」、TKPガーデンシティ仙台勾当台2階ホール1。市民3名+2名+記者1名傍聴。

15日(水) 原発問題住民運動宮城県連絡センター、公開講演会「女川原発・国際基準なら不合格!? 審査の『さじ加減』を批判する」、講師館野淳氏(核・エネルギー問題情報センター事務局長、元日本原子力研究所研究員)、宮城県民会館4F401。約50名参加。

17日(金) 東北電力、県・女川町・石巻市ならびに登米市・東松島市・涌谷町・美里町・南三陸町に4月分の女川原発の点検状況報告。

18日(土) 日本キリスト教団東北教区放射能問題支援対策室いずみ、甲状腺検査公開報告・交流会、ゲスト脇ゆうりかさん(NPO法人3・11甲状腺がん子ども基金)事務局長)、東北教区センター「エマオ」。約40名参加。

(空)

## ●脱原発みやぎ金曜デモ

女川原発再稼働するな！子供を守れ！  
汚染はいらない！みやぎ金曜デモ In 仙台  
[https://twitter.com/miyagi\\_no\\_nuke](https://twitter.com/miyagi_no_nuke)  
<http://twipla.jp/events/27716>

主催 口みやぎ金曜デモの会（代表 西）  
e-mail:miyagi.no.nuke@gmail.com

### 【3月】

24日（日） 第318回「日曜デモ」、「3.11から8年 女川原発の再稼働を止めよう！ 3.24 みやぎ行動」、女川原発再稼働の是非をみんなで決める県民投票を実現する会代表多々良哲さん・放射能汚染廃棄物「一斉焼却」に反対する宮城県民連絡会広幡文さん・日本基督教団放射能問題支援対策室いずみ服部賢治さんが発言、演奏 阿部文明さん。前日みんなで手作り等をした“かざぐるま”を持ち寄り、仙台市勾当台公園野外音楽堂から60名の市民が参加。



29日（金） 第319回「金曜デモ」、県民投票条例を求める直接署名運動は、宮城県全域で、再稼働問題が「わがこと」として考える大きなきっかけになり、11万もの署名が集まった大きな理由は、福島原発事故を決して忘れていないからに他なりませんと、勾当台公園野外音楽堂から30名の市民が参加。

### 【4月】

5日（金） 第320回「金曜デモ」、原発は完全に時代遅れ、一日も早く脱原発できるようにこれからも声をあげましょう！と、桜が開花した仙台の勾当台公園野外音楽堂から35名の市民が参加。

12日（金） 第321回「金曜デモ」、3月29日、東京電力は、青森県東通村に企業版ふるさと納税制度を利用し2億円の寄付を表明、東北電力も4億円の寄付を申し出、原発事業を進めるためのこのワイロを決して認めることはできません、「原発マネー」に依存しない地域づくりを、みんなでも考えていきましょう！と、勾当台公園野外音楽堂から35名の市民が参加。

19日（金） 第322回「金曜デモ」、福島原発事故から8年が過ぎましたが事故はまだ終わってはいません、福島第一原発に発令された原子力緊急事態宣言は、8年たった今も解除されていません、原発事故さえ起きなければ、ふるさとから離れることはなかったのに、3月末、旧避難区域からの避難者約2200世帯への仮設・借り上げ住宅提供が打ち切られた、国は避難者が尊厳をもって平和に生きる権利を保証すること、そのために住宅提供など必要な支援継続を行うことを求めますと、勾当台公園野外音楽堂から30名の市民が参加。

28日（日） 第323回「日曜デモ」、新緑の美しい杜の都で「女川原発もうやめよう！」と声をあげ、勾当台公園野外音楽堂から30名の市民が参加。

### 【5月】

10日（金） 第324回「金曜デモ」、日に日に緑深まる杜の都仙台から原発やめよう！と声をあげ、錦町公園から30名の市民が参加。

17日（金） 第325回「金曜デモ」、仙南や大崎の住民とともに、あくまで放射能の拡散につながる焼却に反対し、安全保管の方針をとることを強く訴えていきましょう！と、肴町公園から20名の市民が参加。

◆（旧古川地域）脱原発大崎demo金曜行動・毎週金曜17時半集合・あさひ中央公園

◆（塩釜地域）塩釜脱原発デモ・毎週金曜17時半集合・下馬駅裏宮城県民医連事業協前17時45分デモ出発

◆（仙台長町地域）原発も戦争もNO！たいはくアクション・第3水曜日17時半～蛸薬師境内集合後デモ行進

◆（岩沼市）原発ゼロ岩沼歩き隊 毎月第3金曜15時～岩沼駅東口広場



# ●汚染廃棄物「試験焼却」をめぐる動き

## 【3月】

22日(金) 亀山紘石巻市長、定例記者会見で、汚染廃棄物の処理が終了したと発表。処理完了?は県内の4県域で初めて。20日に本焼却を終え、焼却灰は25日までに、河南一般廃棄物最終処分場へ搬入(4月18日、焼却灰の埋立作業が完了)。

23日(土) みんなのデータサイト、みんなの放射線測定室「てとと」、福島第一原発事故から8年~2011年 2019年 そしてこれから~17都県「放射能測定マップ+読み解き集」を使いこなそう!大沼淳一氏(未来につなげる・東海ネット 市民放射能センター(C-ラボ)スタッフ)、仙台市シルバーセンター7階第一研修室。約30名参加。

24日(日) 大崎耕土を放射能で汚染させない連絡会、学習会「放射能汚染廃棄物の大崎耕土への焼却と埋立を許さない」、大崎市図書館多目的ホール、講師口大沼淳一氏(原子力市民委員会委員)。

27日(水) 仙台地裁、放射能汚染廃棄物の焼却差止め大崎住民訴訟第3回公判、大崎住民訴訟説明会 仙台弁護士会館。

28日(木) 放射能汚染廃棄物の焼却処分に反対する石巻地域の会、亀山石巻市長宛「放射能汚染廃棄物の焼却・埋め立て強行に対する抗議文」を提出。(4月15日、石巻市、文書回答)

31日(日) 放射能汚染廃棄物「一斉焼却」に反対する宮城県民連絡会、「本焼却阻止・大崎住民訴訟支援の集い」、エルパーク仙台5階。

## 【4月】

13日(土) 放射能汚染廃棄物問題を考える大崎の会、講演会「住民の『平穏生活権』を守る」、講師青木正芳弁護士、古川保健福祉プラザ、約90名参加。

17日(水) 石巻地域の会、第2回総会と学習会「大崎住民訴訟の意義と解説」講師松浦健太郎弁護士。

24日(水) 放射能汚染廃棄物の焼却に反対する仙南の会、仙南地域広域行政事務組合に、「本焼却中止」の申入れ、7名参加。

26日(金) 仙台地裁(関根規夫裁判長)、大崎試験焼却中止の仮処分訴訟で、申し立て却下の不当決定。住民側、仙台弁護士会館で記者会見し抗議、即時抗告する方針。

## 【5月】

10日(金) 大崎試験焼却中止仮処分訴訟、住民側、仙台高裁に即時抗告。夕方、大崎市古川で不当な却下決定を糾弾する緊急集会を開催、60人程の支援者が結集。翌11日、大崎市池月で抗告人と弁護士による報告集会。

仙南地域広域行政事務組合(2市7町)、定例理事会で、15日からの本焼却を決定。2023年1月まで、約7200トンを焼却予定。

15日(水) 仙南事務組合、本焼却を角田市の仙南クリーンセンターで開始。

仙南の会、中止の申入れと抗議活動。

(空)

『鳴り砂』2-100号(通巻279号)別冊  
2019年5月20日

発行●みやぎ脱原発・風の会

〈連絡先〉〒980-0811

仙台市青葉区一番町4-1-3

仙台市市民活動サポートセンター内

レターケース No.76

電話&FAX 022-356-7092(須田)

<http://miyagi-kazenokai.com/>